

令和4年度浦添市水道施設整備事業評価委員会議事要旨

日時：令和5年2月24日（金）

9：50～11：10

場所：上下水道部庁舎3階会議室

～資料3の説明に対する質疑応答～

○委員

スライド24枚目の仲間配水池と前田第一調整池は残事業に含まれていますか。

○執行部

仲間配水池の更新と、前田第一調整池は残事業に含まれます。前田第一調整池は、現在県企業局所有の調整池ですが、調整池を取り壊した後に新しい配水池を整備する予定です。

○委員

残事業について確認です。480億とありますが、これは今後の事業の総額ですか。

○執行部

残事業の総額は57億1628万3千円となります。

○委員

今回再評価事業の概要として、9頁の（2）土地区画整理事業に伴う管路整備事業に、人口増が見込まれる3つの地区として、西海岸地区、浦添南第一地区、浦添南第二地区とあります。浦西駅周辺の整備事業はこちらに入らないのですか。

○執行部

12頁の（18）の方に、土地区画整理事業に伴う管路整備事業に追加で入っています。事業創設からの経緯ごとにまとめていますので、平成15年当時は南第一地区と南第二地区がありました。モノレール延伸に伴う区画整理事業は前回再評価時の平成29年度に追加されましたので、（18）の方で別の事業として記載しています。

○委員

本市行政区域内の地下水調査の中でヒ素が基準値を超えているという表現があります。このことから浦添市の水は飲料水に適さないということですか。また、ヒ素というのはどういうことか、どこから発生しているのか分かりますか。

また、最近県内、全国市町村でP F O Sの問題が取り上げられていますが、調査などを行っていますか。

○執行部

地下水の調査については沖縄県の方で毎年おこなっています。

ヒ素がわずかに基準値を超えていますので、地下水や井戸水を飲み水として使用することは厳しいと考えています。また、発生源につきましては水道事業者としては調査していません。

P F O Sにつきましては、浦添市では年に一回、北谷浄水系統の2か所で採水して、確認しています。どちらも国の定めている50ng/l以内の暫定値をクリアしていますので、私たち上下水道部としては安全性について確保されていると考えています。

○委員

私は浦添市内に住んで40年近くなりますが、いままで大きな断水はありませんでした。また、水道管が壊れて変な水が流れてきたということもなく安心して過ごせていますが、さきほど別の委員が言ったようにヒ素という記載があり私も驚いています。

先日、屋富祖のスージガーというところを通った際、昔使っていたという井戸がありました。昔はここの井戸水を飲んでいたそうです。私の母の実家にも井戸がありましたが、いまは使っていないので安心しています。

浦添市には配水池が5か所あり、緊急事態のためにもこれからまた新しく新設するときいて安心しました。

防災防火クラブでも、もし地震が起きたらどうするかという話があり、自宅で水を確保しないといけないという話もでした。大地震は50年に一回あるかどうかですが、何があるかわかりません。水道水というのは本当に大事なものだと思いますので、浦添市の皆さま宜しくお願いします。

○委員

最後の32頁ですが、費用対効果がだいぶ出ています。この数字からすると事業の継続は妥当だと思います。